

令和6年度 学校評価アンケート結果

アンケートへのご協力まことにありがとうございました。本年度の学校評価アンケートをとりまとめました。本評価は、保護者・児童・教職員アンケートからの意見をまとめたものです。アンケートの結果を受け、本校の教育を改善してさらによりよい学校になるよう努めます。

1. 学校教育目標と学校経営の重点

- (1) 学校教育目標：『地域の良さに気付き、地域を知り、愛する児童を育てる
～明るいまいさつが響き、笑顔が輝く学校づくり～』
- (2) 学校経営の重点：「確かな学力の育成」「豊かな人間性の育成」「学習環境の充実」
「信頼される教職員」「開かれた学校」

2. アンケート結果

* 質問内容は、保護者・児童・職員ともに一致させています。同じ内容に対しそれぞれの立場に向けた聞き方をしています。(以下の一覧の質問項目は実際の質問を若干簡略化しています。)

(1) 全体の結果一覧表と考察 *小数点以下切り捨て

	質問項目	保護者		児童		職員	
		肯定	昨年度比	肯定	昨年度比	肯定	昨年度比
1	楽しい学校生活を送れているか	97%	1%	92%	2%	94%	-3%
2	授業により学力・学習意欲が向上しているか	91%	6%	92%	0%	86%	-2%
3	教科担任制による授業は有効か	73%	0%	84%	5%	80%	-8%
4	習熟度別学習による授業は有効か	78%	2%	86%	-1%	91%	0%
5	安全・安心な学校生活を送れているか	96%	-1%	89%	-4%	89%	-2%
6	学校での取り組みにより読書意欲は向上しているか	64%	11%	69%	-1%	86%	1%
7	学校での活動を通して友達と仲良く過ごさせているか	95%	0%	96%	0%	94%	3%
8	学校は保護者・児童の相談に適切に対応しているか	94%	2%	86%	-4%	97%	0%
9	体力・運動能力を育成できているか	83%	-3%	89%	0%	83%	-8%
10	学校は適切に情報を発信しているか	94%	0%			94%	-3%
11	自主性を育成できているか	91%	3%	81%	-2%	97%	0%
12	校外学習・行事を通して協調性・判断力・生活力を育成できているか	97%	1%	93%	-1%	97%	6%
13	学校はボランティアの仕組みを整えて地域と連携して学校運営を行っている。	88%	1%	91%	1%	74%	-2%
14	学習へICT機器を活用しているか	81%	0%	80%	-4%	91%	0%
15	保護者や地域と連携して教育活動を行っているか	92%	2%	85%	0%	86%	-8%

【考察】

全体的にみると、肯定的な回答が多数を占めています。特に、「楽しい学校生活」「友達と仲良く」「校外学習・行事での協調性・判断力・生活力の育成」といった項目については保護者・児童・職員、全てにおいて90%以上の肯定的な回答がみられ、多くの児童が楽し

く学校に通うことができおり、友達との関係も良好であることがわかります。何よりの結果をうれしく思います。

一方、項目によっては、対象によって回答の傾向にばらつきがみられました。「読書意欲の向上」に関する項目では、保護者・児童の肯定的な回答は、職員の肯定的な回答より15%以上も低くなっていました。読書ボランティアによる読み聞かせや、図書館指導員を活用した読書活動など、日々読書の意義を伝えながら読書に親しむ時間を確保してきましたが、今後、より工夫を重ねながら読書意欲の向上を図っていきます。

また、「ICT 機器の活用」について、児童の肯定的な回答が、職員に比べ10%以上低くなっていました。本校では今年度より「CANVA」というアプリケーションを授業で子どもたちが利用する場面を多く取り入れました。このソフトは簡単にグラフィックデザインファイルを作成することができるため、子どもたちはポップ、新聞、ポスターなどを楽しみながら作成していました。この項目にておいて児童の肯定的な回答が低いのは、ICT 機器をより学習に活用したいという気持ちの表れでもあると捉えます。漫然と ICT 機器を利用するのではなく、ICT 機器の活用能力の向上と、ICT 機器を活用した効果的な教科の学力向上を目指し、今後もより有効に利用していきます。

本校が最も重要視している自主性の育成に関する項目の結果は、ほぼ昨年度同様でした。職員の肯定的な回答が97%とあるように、全職員が自主性の育成という目標を共通理解し、日々の全ての教育活動の中で児童の自主性が育まれるための工夫を取り入れようと考えております。自主性を育成することで、自分の考えをもち、積極的に行動できる人を育てていきます。

(2) 保護者対象の結果と考察 *小数点以下四捨五入 回答者数名 374 回答率 69%

	質問項目	肯定的回答	昨年度比
1	お子さんは楽しい学校生活を送っている。	97%	1%
2	お子さんは、授業を受けて学習意欲や学力を向上させている。	91%	6%
3	(3年生以上保護者のみ回答)教科担任制により、お子さんの学習意欲や学力が向上している。	73%	0%
4	(5年・6年保護者のみ回答)習熟度別学習により、お子さんの学習意欲や学力が向上している。	78%	2%
5	お子さんは、安全な環境で学校生活を安心して送れている。	96%	-1%
6	お子さんは、学校での取り組みや活動によって読書への意欲が向上している。	64%	11%
7	お子さんは、学校で友達と仲良く過ごしている。	95%	0%
8	学校は、保護者や子どもの悩みや相談に適切に応じている。	94%	2%
9	お子さんは、学校生活の中で体力や運動能力を養えている。	83%	-3%
10	学校は、HP やお知らせを通じて学校の情報を伝えている。	94%	0%
11	お子さんは、学校生活の中で自主性を伸ばすことができている。	91%	3%
12	お子さんは、校外学習や各種行事を通して、協調性、判断力、生活力などを伸ばしている。	97%	1%
13	”学校は、ボランティアの仕組みを整え、地域と連携した学校運営を行っている。	88%	1%
14	お子さんは、タブレット・クロームブック等 ICT 機器を活用し、学習意欲や学力を向上させている。	81%	0%
15	学校は、保護者や地域の方と協力しながら教育活動を行っている。	92%	2%

【考察】

ほとんどの項目で、肯定的な回答を得ることができました。日々の教育活動へのご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。特に「楽しい学校生活を送っている」という問いには97%もの肯定的な回答を得ることができました。この結果に満足することなく、全ての児童が楽しく学校に通えるように職員一同更なる努力をしてまいります。

昨年度肯定的な回答が唯一50%台と低かった読書への取り組み。その結果を受け、今年度は学級内での読書活動を充実させるよう取り組んだ結果も影響してか、肯定的な結果が11%向上しました。

肯定的な回答が若干ですが下がったのが、体力向上に関する項目です。この原因については、熱中症対策が大きく関係しているかと思われます。5月～10月の間、気温が非常に高い日が多くあり、WBGT（熱中症指数：校内2箇所では指数を計測しています）が31度を超える場合は、運動を行うことができませんでした。それは休み時間も同様でした。次年度後半に体育館にエアコンを設置する予定です。エアコン工事が順調にすすめば、令和8年度の夏季には体育館での体育が一年中行えるようになる見込みです。それまでは、熱中症対策に力を入れながらも工夫して体力向上を目指していきます。

6番目の項目である「安全」については、昨年度に続き高い評価をいただくことができました。本校では、頭部へのけがや、発熱、嘔吐などがあった場合はなるべく迅速にご家庭に連絡をしております。お子さん、保護者の不安をいち早く取り除き、健康に過ごせるよう配慮しております。連絡後のお迎え等でお手数をおかけすることになりますが、今後も安全第一で教育活動を行ってまいります。

（３）児童対象の結果と考察 ＊小数点以下四捨五入

	質問項目	肯定的回答	昨年度比
1	学校生活は楽しい。	92%	2%
2	授業はわかりやすく、よく理解できる。	92%	0%
3	（3～6年生対象）教科によって異なる先生が授業をすることが、自分の学習に良い影響をあたえている。	84%	5%
4	（5年と6年対象）習熟度別に学習することで学習内容が理解しやすい。	86%	-1%
5	学校では、安心して安全に生活できている。	89%	-4%
6	学校で過ごすことで、本を読むのが好きになった。	69%	-1%
7	友達とは楽しく過ごせている。	96%	0%
8	困ったときには先生が相談にのってくれる。	86%	-4%
9	学校での活動や体育の授業を行うことで、体力がつき、運動ができるようになった。	89%	0%
10			
11	学校では、自分の考えや意見を発表したり、自分で考えたことをやってみたりすることができる。	81%	-2%
12	校外学習や行事を行うことで、友達と協力する力や、めあてにむかってがんばる力がついている。	93%	-1%
13	学校でのいろいろな活動に協力してくれるボランティアの人がいることを知っている。	91%	1%
14	勉強がよくわかるために、授業でパソコンやアイパッドやクロームブックをよく使っている。	80%	-4%
15	学校のいろいろな活動に協力してくれる地域の人や場所があることを知っている。	85%	0%

【考察】

全体の結果を昨年度の結果と比較すると、大きな変動は見られず、ほぼ昨年度同様の結果となりました。

「学校生活は楽しい」という項目で昨年度より肯定的な回答率を上げることができました。この項目の向上は職員一同の願いであり、大変うれしく思います。今後もより肯定的な回答率が上がるよう尽力してまいります。

昨年度に比べ最も肯定的な回答率が上がったのが、「教科担任制」に関する項目でした。一昨年度から始まった、教科担任制度。始まったばかりのときは、担任以外の教師から主要教科を教わることに若干とまどいが見られました。この取り組みも3年目を迎え、子どもたちも慣れたことで、教科担任制を受け入れ、その有用性を感じているようです。これからも児童の実態をとらえながら教科担任制を有効活用し、学力向上を図っていきます。

昨年度に比べ「教師への相談」に関する肯定的な回答が4%減少していました。児童からの相談に関しては、日々の相談には担任、学年主任が中心となり、また、その他にも相談担当職員（養護教諭、みどり学級担任、管理職）が常時相談を受けつけております。今後、より児童の表情や様子をよく観察することはもちろん、児童が相談しやすい受容的な態度で職員一同接していきたいと思ひます。

（４）職員対象の結果と考察

＊小数点以下四捨五入

	質問項目	肯定的回答	昨年度比
1	児童が楽しく通える環境づくりができています。	94%	-3%
2	わかりやすい授業が行えている。	86%	-2%
3	教科担任制を行うことで、専門性を高めた、質の高い授業が行えている。	80%	-8%
4	習熟度別学習を行うことで、児童の理解度は高まっている。	91%	0%
5	安全で安心できる学校づくりができています。	89%	-2%
6	児童の読書量を増やしたり、読書意欲を高めたりする指導をしている。	86%	1%
7	児童同士で協働したり、遊んだりする場を十分に作っている。	94%	3%
8	保護者や児童の相談にはていねいに対応している。	97%	0%
9	体育や行事を通して、児童の体力・運動能力を向上させることができている。	83%	-8%
10	HP やお便りを通じて、教育活動の様子を外部に伝えることができている。	94%	-3%
11	児童の自主性を伸ばすために、児童の意見を取り入れたり、児童が主体的に活動できる機会を設けたりしている。	97%	0%
12	校外学習や行事を通して、児童の生活力・コミュニケーション能力・目標達成能力等を伸ばすことができている。	97%	6%
13	ボランティアと協力する態勢を整え、ボランティアの支援を教育活動に有効活用している。	74%	-2%
14	I C T機器を有効に活用し、学習内容の定着に役立てている。	91%	0%
15	地域の、施設・人・ものを教育活動に有効活用している。	86%	-8%

【考察】

どの項目でも肯定的な回答が多数を占めました。ですが、昨年度のデータと比較すると、三つの項目に置いて大きくポイントを下げていました。一つ目に、「教科担任制」について。

こちらは児童からの肯定的な回答は上がっているのに対し、教職員側の肯定的な回答は8%下がっておりました。原因の一端として、教科担任制にすることで時間割のしぼりが生じ、柔軟に時間割を変更することができなくなることが挙げられます。特に高学年は行事や委員会の関係で時間割を変更しなければならないときが多々あります。ですが、教科担任制をしていると、簡単には授業を変更することができません。その他にも、教科担任制を実施している学年内の教師の誰かが病欠をした場合、現状対応が難しくなっています。このように、教科担任制を運営することには、課題もいくつか存在します。とはいえ、教科担任制実施についての肯定的な回答が8割以上となっており、制度自体についてはその有効性を実感しているため、運用の仕方を見直しながらよりよく活用していきます。

二つ目に、「体力・運動能力」の向上について。こちらは先述しましたが、熱中症予防のため運動ができない期間が多くあったためと考えられます。

三つ目に、「地域の施設、人の活用」です。地域の施設への見学や、地域の方を招いた出前授業、書き初めなどは昨年度とほぼ変わらない頻度で行っております。この項目のポイントが下がった原因としては、地域のボランティアの活用状況がそれほど活性化されていないからかもしれません。ボランティアの制度が3校合同制になって2年目になりました。ボランティアに自校の保護者を募るのに対し、三校合同ボランティアの登録者を活用するには、若干手間がかかります。次年度からは三校合同ボランティアの仕組みをより活用しやすいよう登録システムを見直すことが決まっています。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら学校の教育活動を進めてまいります。どうかよろしくお願いいたします。

（５）自由記述について

学校に対してたくさんの声をいただきました。寄せられた声の中から抜粋して掲載いたします。それ以外の声についても、よりよい学校運営のために参考にさせていただきます。

①持久走等において、順位があった方がよい。負けるという経験も大事。

⇒本校では、競争において順位付けすることを悪いことだとは考えてはいませんが、（持久走においては）個人の健康に留意しながら持久力を養うために自分の記録を伸ばすことを目標としております。

②入校証について、保護者証は各家庭に２枚配付し、行事の参観は各家庭２名までとした方がよいのではないのでしょうか。

⇒学校とPTAで検討し、各家庭２枚配布することにしました。

③登下校について、登校班のような仕組みがあるといいと思います。

⇒安全に配慮いただきありがとうございます。登校班という方法にはデメリットもございます。例えば班員が全員そろそろまで動けないため、多々時間のロスが生じます。そうすると班ごとに登校時間にずれが生じることになります。また、欠席者の情報を把握し、連絡調整する手間が発生します。この連絡調整をミスすると、新たなトラブルが生じることになります。本校の通学路はありがたいことに人通りも多く、見通しがきくため、学年ごとに時間をそろえ集団で登下校することが安全に寄与すると考えます。

④感染症予防のため、学校での感染症患者数を発信して頂けると助かります。

⇒多数の児童が同一の感染症に感染した状況が発生した場合や、学級閉鎖が発生した場合は、注意喚起を行っていききたいと思います。

⑤クラブ活動の日を増やしてほしい。

他の行事や、委員会、その他教科の授業時数などの兼ね合いによりクラブ活動の日を増やすことは難しい状況です。現在ある１０回を充実した活動になるようにしていきます。

⑥学校行事を増やしてほしい。

⇒校外学習や、地域施設への見学、東大のオープンキャンパスへの参加など、地域の特色を

取り入れながら年間の行事を企画しております。学年の発達段階や授業の進度などを考慮して行事を企画するため、学年によっては他の学年にある行事がない場合もあります。ですが、6年間をトータルで様々な体験活動を行えるよう企画しております。ご理解の程よろしくお願いいたします。

⑦6年生の外国語の授業にALTがもっと入るとよい。

⇒現在のところ外国語の授業の支援のため基本的にはALTと外国語授業支援員の二人のどちらかが入っています。ALTは複数校を兼務しており、本校への勤務日を自由に決めることはできません。本校の6年生の日課とALT・外国語授業支援員の出勤日を見ながら割り当てを調整しております。ALT・外国語授業支援員、どちらも児童が英語に慣れ親しむようしっかりと活動を支援しておりますので、ALTの配置の仕方についてはご理解の程よろしくお願いいたします。

⑧シグフィ어의機能が改善されるとよいです。大事なお知らせをお気に入り登録できたり、メールについての検索機能がついたりすることを希望します。

⇒シグフィーには機能改善についてのご意見を伝えておきます。

★その他、多くの温かいお言葉をいただきました。感謝申し上げます。今後とも、本校の学校運営への多大なるご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。（以下一部抜粋）

- ・先生が子どもの個性を尊重してくれていると感じ、感謝しかないです。今後もよろしくお願いします。
- ・毎日楽しく通えてるのも先生のおかげだと思います。いつもありがとうございます。
- ・積極性や自主性が伸びました。学校生活が楽しく充実していて、先生がのびのびとさせてくれていることが本人には合っているのだと思います。ありがとうございます。
- ・先生方には、毎日子供の為に頑張ってください、ありがとうございます。先日、算数ボランティアに参加し、1クラスを一名の先生で見るのはとても大変だと感じました。
- ・子供のことを見てくれている。適した対応をしてくれるので有り難いですし安心。
- ・子どもの良いところを見つけて、褒めてくださり、親にも報告して頂きありがとうございます。

（6）学校運営協議会委員対象の結果

	質問項目	肯定		否定	
		そう思う	ややそう思う	わない あまりそう思	思わない
1	楽しい学校生活が送れているか	89%	11%	0%	0%
2	授業により学力・学習意欲が向上しているか	56%	44%	0%	0%
3	教科担任制による授業は有効か	33%	67%	0%	0%
4	習熟度別学習による授業は有効か	67%	33%	0%	0%
5	安全・安心な学校生活を送れているか	67%	33%	0%	0%
6	学校での取り組みにより読書意欲は向上しているか	56%	44%	30%	0%
7	学校での活動を通し友達と仲良く過ごせているか	67%	33%	0%	0%
8	学校は保護者・児童の相談に適切に対応しているか	67%	22%	11%	0%
9	体力・運動能力を育成できているか	56%	44%	0%	0%
10	学校は適切に情報を発信しているか	78%	22%	0%	0%

11	自主性を育成できているか	20%	70%	10%	0%
12	校外学習・行事を通して協調性・判断力・生活力を育成できているか	50%	50%	0%	0%
13	学校はボランティアの仕組みを整えて地域と連携して学校運営を行っている。	30%	70%	0%	0%
14	学習へＩＣＴ機器を活用しているか	40%	60%	0%	0%
15	保護者や地域と連携して教育活動を行っているか	30%	60%	10%	0%

頂いたご意見を踏まえ、来年度の取り組みを考え、令和7年度も教職員一丸となって、児童のために努力してまいります。今年度のご協力に心から感謝しています。今後どうぞよろしくお願いいたします。